

校長室だより

No. 43

平成31年3月1日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

未来に向けて人とのかかわり方を大切に ―第3回学校評議員会より―

2月22日(金)に、第3回学校評議員会を開催し、本年度の指導・評価をしていただきました。わたしたちは、子供の知徳体を育てるために学校教育方針を立て、研修し、一つ一つの教育活動に精いっぱいあたっているつもりでいます。しかし、それはわたしたちの独りよがりな面も出がちです。そのために外部の方に御意見をいただくことは貴重なことです。



【第3回学校評議員会 校長室にて】

今回の評議員会は、学校診断アンケートの保護者・児童の回答結果と自由記述で御意見いただいたこと、さらに、年度初めにわたしが掲げた本年度の重点項目についての自己評価を資料に添え、本年度の取り組みを説明しました。御講評いただいたことの一部を掲載します。わたしとしては、スマートフォンを幼児も扱っている姿を見て人とのかかわり方についての指摘が印象に残りました。保護者の皆さんには、学校評議員会でいただいた御講評とアンケート結果等を実家庭数で配付します。今後も御意見を参考にし、学校経営に取り組んでまいります。

学校評議員会での御意見より 《一部を掲載》

○第2回の学校評議員会において、6年生と意見交換をする場があり、子供たちが自分の思ったことをよく話せるので感心した。子供が自分の思いを伝える教育がよく取り組んでいる。

○研究授業で行っていた生活科「アサガオ」の取り組みや、生活単元学習「梅ジュースづくり」の取り組みのように、学びの過程が目に見える取り組みがよい。今年の研究の視点である「振り返り」も大切である。学びの過程が目に見えることができることで、子供は実感がわくものである。

○学校以外で異年齢や大人数で遊ぶ機会が減っていることや、スマートフォンの普及により人とのかかわり方に変化が出てきている。ペア交流、異学年交流はよい。その効果は様々な子供の優しい姿から分かる。通学班でも小さい子らは大きい子らの姿をよく見ている、上の子の姿を目標にしている。

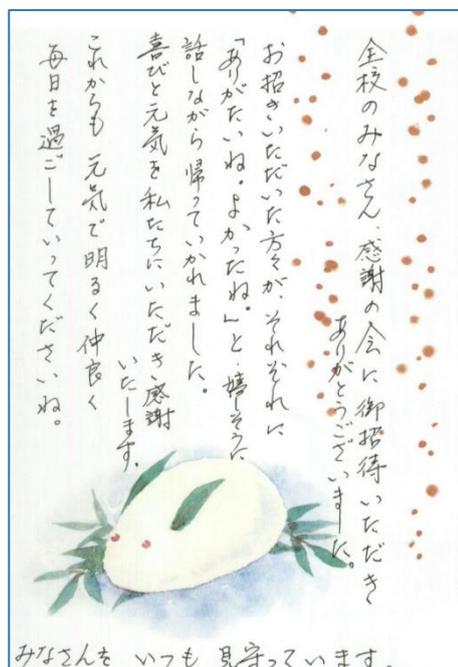
中部学区のたくさんの方が応援者であってくださることに感謝

年度末に近づき、まとめの会や、来年度に向けての取り組みが行われています。この時期の一つ一つの会を改めてつないで見たとき、様々な立場の方々が中部小

学校を応援してくださっていることを実感します。本当にうれしくなります。子供たちを大切に思う心が学校に集まっています。以下に紹介。中部学区万歳。

① 感謝の会のあとにはがきが

20日（水）に交通指導員さんなど、ボランティアでお世話になった方々を招き、感謝の会を開きました。代表の子供から感謝の言葉と、全校児童による「ありがとうの花」の合唱で感謝の気持ちを伝えました。右のはがきは、この会のお礼のはがきです。本当にありがたい。「ありがとう」を「ありがとう」で返してくださいました。人と人との心のつながりの大切さを教えてくださっていると感じます。わたしたちに生き方を教えてくださっています。こうした方々がいらっしゃるから、世界に誇れる日本ができるのだと思います。



【感謝の会の後に届いたはがき】

② おやじの会のボランティアから



【24日の作業の様子】

24日（日）には、おやじの会の皆さんによる奉仕がありました。今は山崎雅樹さんがリーダーシップをとり、声をかけて都合のついた方が来てくださっています。毎年「男手のいる仕事があったら何でもやりますよ。」と言ってくださって力仕事をたくさんやっていただいています。これがまた爽やかな方々で、作業をするだけしたら「それじゃあ」と言って帰っていかれます。なんと気持ちのいい方々か。

今年は花壇のための柵とジャンピングボー

ドをいとも簡単に作ってくださいました。すごい。ありがとうございました。

今回のおやじの会皆さん 《順不同》

山崎 雅樹さん	夏目 貴弘さん
大久保秀幸さん	志村 勝樹さん
山碓 健吾さん	織部 宗紀さん
犬塚 司さん	須田 浩之さん

③ 臨時PTA役員会から

2年前から、本校の児童数が来年度から減少する見通しであることを伝えてきました。現在315人の児童数も来年度は281人の予定です。（市作成の人口統計から5年後までの児童数を予測すると最小230人台にまで減る可能性があります。）臨時役員会では、PTA委員会で議論した予算についての最終検討、学校診断アンケートの意見もふまえた年間行事、規約の検討などを、秋葉会長中心に今後の方向を真剣に考えてくださっていました。多くの家庭の様々な状況を考えながら。あたたかい。